昌子の広場 第154報 小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員
小林昌子
和泉市緑ヶ丘 2-13-10
自宅 Tel　0725-54-2626
Fax　020-4669-6920
事務所　Tel(Fax)0725-53-4451
Email　masakokob@ybb.ne.jp
http://masako-hiroba.info/
ホームページもご覧下さい

目 次

・和泉躍進プランの素案が明らかに　P1
・ごみ有料化答申出る　P2-3
・菅元総理に聞く（その１）　P4

和泉躍進プランの素案が明らかに
ごみ有料化審議会が答申
菅元総理に聞く

和泉再生プランの後継計画として 和泉躍進プランの素案が明らかに！

和泉再生プランの後継計画として、和泉躍進プランの素案が明らかになりました。

＜和泉躍進プランの必要性＞
●超高齢・人口減少社会への対応
●多様化する市民ニーズ・福祉サービスの充実
●教育・子育て・健康・福祉や地元産業・農林業の活性化などさまざまな課題

＜和泉躍進プランの位置づけ＞
○和泉再生プランの後継計画
○「まちづくり」「財政健全化」「組織・人づくり」を柱とする実施計画
○平成27～31年度までの５年間
○効果額　５年間で 40 億円、基金残高 30 億円を確保

＜和泉躍進プランと収支見通し＞

単位百万円

	現状のままの収支見通し		健全化効果額	健全化後の収支見通し	
	実質収支	基金残高		実質収支	基金残高
H27	0	4,923	779	0	5,702
H28	0	3,551	711	0	5,041
H29	0	2,544	881	0	4,915
H30	0	573	810	0	3,754
H31	▲ 44	0	815	0	3,952
H32	▲ 1,189	0	745	0	3552
H33	▲ 2,030	0	748	0	3,459
H34	▲ 3,286	0	753	0	2,956
H35	▲ 3,939	0	762	109	2,856
H36	▲ 4,520	0	764	232	3,016

主要施策と効果（10年間の累計）　単位百万円

主要施策	効果額
使用料手数料の見直し	423
初任給水準の見直し	544
職員給与の減額	350
敬老祝い金の見直し	650
障がい者給付金の廃止	780
経常物件費の見直し	670
民間保育所運営補助金の見直し	200
経常補助金の見直し	390
未利用地の売却	334
公立保育園のあり方の見直し	2,588
公立幼稚園のあり方の見直し	237
その他	602
計	7,768

主要な大規模投資（単位億円）

消防	7
庁舎（耐震改修）	21
小中一貫校	36
スポーツ施設	17
公園	1
新病院（半額負担で）	67
市営住宅	145
計	294

現状のままに推移すると、H31 には基金が底をつき、赤字に転落。それを躍進プランの効果で H36 でも 30 億円の基金を確保

東日本大震災時の総理　菅直人さんに当時の緊迫したお話をうかがいました！

堺市議会議員の長谷川俊英さんの勉強会で、東日本大震災時の首相の菅直人さんに当時の緊迫した様子をお聞きしました。
最初に30分ほど菅元総理が2014年3月にポーランド、ドイツや、フィンランドの核廃棄物の最終処分施設「オンカロ」等を視察されたときの映像を拝見しました。
映像の後は3･11の原発事故が起きた当時の様子から講演がスタートしました。
ちょうど国会で審議中だったそうで、議長判断で休憩に入り、国会の目の前にある首相官邸の地下センターに行くと、官房長官やその他何人かのメンバーがいたそうです。原発の最初の報告はすべての原発が無事停止とのことで、ほっとしたことを今でも覚えている。しかし1時間経つかたたないうちにすべての電源が喪失した。数十分後すべての冷却機能がとまったとの報告を聞き、身の毛がよだつような気持ちがした。今もその感覚が戻ってくることがある。
3月12日午後3時ごろ1号機が水素爆発した。直前に斑目委員長に「水素爆発は大丈夫ですか」と聞くと「水素が外へ出ても、窒素と水素は反応しないから水素爆発は心配ない」と言われたのが午前６時か7時ごろ。しかし実際は6～7時間後にドーンといった。説明役の東電副社長からは1時間以上何も言ってこなかった。一番怖かったのはメルトダウンは勿論、本来なら専門知識を持った役所の人間がみんな黙ってしまうことだった。格納容器の圧力が上がってきたとの報告。ドーンと一気に噴出したら元に戻れないから，ベント対応しかないと助言された。
3月11日夜１２時ごろからベントの話が出て、やるとなったが３～４時間たってもベントが始まらない。東電は「分かりません」との返事。これはきちんと現場を見るべきと3月12日午前６時ごろヘリコプターで出発。吉田所長に会って、どうなっているかと聞くと机の上の図を説明し、弁を開けようとしているが、電気がないから出来ないがなんとしてもやります。最後は決死隊を作ってもやると、そこまで言ってくれた。現地に行ったことで吉田所長を知り、現地と話ができるようになった。総理が現地に行くことにご批判があったことは承知していたが、状況が分からない中で判断はできない。
最初の100時間は現場も東電本店も官邸も分からなかった。現地対策本部は最後まで成立しなかった。屋外退避は5キロ→10キロ→20キロ→30キロと決めた。スピーディーのデータを活用しなかったことは今でも大変申し訳なく思っている。我々はその存在を当時知らなかった。（次号に続く）

昌子の日記＆予定

8/1 信太山丘陵ワークショップ傍聴
8/2 緑ヶ丘夏祭り
8/4 自治体議員勉強会 in 堺
8/5 和泉中央駅会報配布、子ども子育て会議傍聴
8/6 和泉中央駅会報配布、環境クラブ水曜ハイキング
8/7 和泉府中駅会報配布、和泉躍進プラン（素案）策定に向けた議員説明会、外部評価委員会傍聴
8/8 和泉府中駅会報配布
8/11 和泉中央駅会報配布、あすの槙尾川を考える会
8/17 ごみ問題学習会 in 高槻
8/18 光明池駅会報配布、子ども議会傍聴
8/19 和泉中央駅会報配布、教育フォーラム
8/20 和泉中央駅会報配布、近畿市民派議員学習会
8/21 北信太駅会報配布、ソロプチ定例会
8/22 信太山駅会報配布
8/24 自然観察会
8/25 光明池駅会報配布、育児支援ミーティング
8/26 和泉府中駅会報配布、議会改革検討会議、会派代表者会議
8/27 和泉中央駅会報配布、信太山丘陵の会、事務所運営委員会

＜事務所行事＞いずれも小林昌子事務所で
連絡先　自宅 TEL 0725-54-2626
事務所 TEL 0725－53－4451
（事務所 緑ヶ丘1－3－15）

万葉講座（場所　緑ヶ丘自治会館にて）
- 講師　大高勇さん（全国万葉協会会員）
- 会費 1,000 円（3 か月分） 14-16 時
- 120 回（9/13 土） 紀へゆく道
  和歌の浦～海南藤白～日高郡由良
- 121 回（10/19 日） 万葉バスツアー
  和歌の浦～海南藤白・大崎～日高郡由良
- 122 回（11/8 土） 万葉歌に思いを重ねた現代の名曲 みだれ髪・平城山・夏は来ぬ・海ゆかば他

パソコン講座（参加費無料）
- 第 2、第 4 週の火曜 10 時～12 時、
  同じく　木曜 14 時～16 時

市政相談会（事前にご連絡下さい）
- 第2、4水曜日 20:00～21:30

日常ごみの有料化について

＜大阪府内自治体の有料化実施状況＞

番号	市町村名	有料化方式 一部／均一	実施年度	有料化価格 45L袋円	ごみ削減率 (%)
1	大阪市				
2	堺市				
3	岸和田市	均一	H22	45	▲ 15.0
4	豊中市				
5	池田市	一部	H18	80	▲ 17.7
6	吹田市				
7	泉大津市	均一	H22	45	▲ 15.6
8	高槻市				
9	貝塚市	均一	H16	9	▲ 25.6
10	守口市				
11	枚方市	検討中			
12	茨木市				
13	八尾市	検討中			
14	泉佐野市	均一	H18	50	▲ 30.0
15	富田林市	一部	H7	100	▲ 9.8
16	寝屋川市				
17	河内長野市	一部	H8	100	0.3
18	松原市				
19	大東市				
20	和泉市	均一	H27	45	
21	箕面市	一部	H15	60	
22	柏原市				
23	羽曳野市				
24	門真市		H27		
25	摂津市				
26	高石市	一部	H25	90	
27	藤井寺市				
28	東大阪市				
29	泉南市	均一	H20	45	▲ 31.3
30	四条畷市				
31	交野市				
32	大阪狭山市	一部	H8	100	▲ 28.7
33	阪南市	均一	H20	45	▲ 38.9
34	島本町				
35	豊能町				
36	能勢町	一部	H16	100	▲ 27.6
37	忠岡町	均一	H20	45	▲ 11.8
38	熊取町	均一	H21	20	▲ 15.3
39	田尻町	均一	H21	50	▲ 15.8
40	岬町				
41	太子町	一部		100	
42	河南町	一部	H8	100	▲ 0.1
43	千早赤阪村	一部	H7	100	▲ 26.7

H24.1末現在

堺市以南の自治体でごみ有料化を実施していない市町村は、堺市、和泉市。岬町の３自治体に留まっています。
（ごみ減量審議会資料より）

日常ごみの有料化 ごみ減量審議会が答申

ごみ減量等推進審議会が答申

＜審議会答申の骨子＞

ごみ減量とリサイクル促進、排出抑制努力の公平性、泉北環境整備施設組合構成３市によるごみ搬入量の削減のため、和泉市における日常（可燃）ごみの有料化は妥当であり、制度が単純でわかりやすく、運用に係る経費が他の方法より安価であることから、均一従量制で有料指定袋の導入が適当である。

＜有料化の目的＞

①ごみ減量とリサイクル促進

市民の意識として、日常（可燃）ごみの有料化はごみ減量化とリサイクル促進への関心を持つ契機となり、併せて環境問題への関心を高めることができれば排出の抑制、再使用の徹底、再生利用を心がけた市民意識の高揚が期待できる。

②排出抑制努力の公平性

ごみの減量、分別に努力されている市民と、努力されていない市民との公平性が図れていない状況であり、今後も市民意識の格差は広まることが予想されるなか、日常（可燃）ごみが有料化されれば、ごみの減量、分別の努力により、費用負担を軽減することができるため、排出量に応じた費用負担の公平性が図れる。

③泉北環境整備施設組合構成３市のごみ搬入量の削減

現在、３市のごみの焼却量が年間約 90，000 ㌧から 82，000 ㌧以下となれば、泉北クリーンセンターの５号炉を完全休炉化することができると言われており、その削減のためには、和泉市のごみの焼却量約６１%を占める日常（可燃）ごみを減量することが有力な手段であり、泉大津市、高石市が日常（可燃）ごみを有料化し、ごみ減量化を推進しているなか、和泉市も今まで以上に減量化を行う必要がある。

＜削減目標＞

現状 33, 673 ㌧を H36 年度目標 30, 195 ㌧（第３次一般廃棄物処理基本計画）

＜具体的方法＞

・有料化の対象　日常（可燃）ごみを対象とし、粗大ごみ、資源ごみは現状通り

・有料指定袋の種類と料金について

有料指定袋の種類は 45ℓ、20ℓ、10ℓ、5ℓの４種類とし、料金については、近隣自治体の状況を鑑み、１ℓ単位を１円とすることが適当である。

・新生児や高齢者で大量におむつを利用する人には無料袋を検討

ボランティア清掃の場合も同様な配慮を行う

＜その他＞

ごみ焼却炉の削減のためにも事業系ごみも含めた減量化を図ること

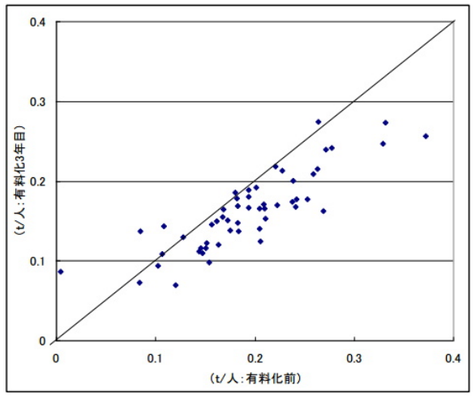
私は環境カウンセラーの立場でこの審議会の委員を長年務めさせて頂き、この答申の作成にも関わりました。

環境問題からごみの減量の社会的要請はますます強くなっています。特に多くの食べ残しの食材が家庭ごみとなっている事実は、一日の食料もままならない超貧困世界の子供たちの姿がテレビなどで放映されるたびに、心を痛めておりました。

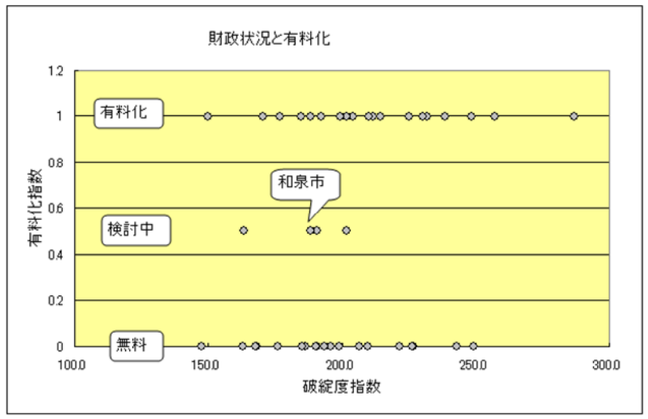
この審議会もごみ減量をテーマに審議してきましたが、その中で家庭ごみの有料化について市から諮問を受けていました。

ごみ減量のために市民の皆様に負担をかけることが適切かどうかは議論のあるところですが、ごみ有料化がごみ減量に有効であることは既に実施している自治体の状況をみても明らかです。

下のグラフをご覧ください。横軸に有料化前、縦軸に有料化後の一人当たり年間可燃ごみ収集量を表したものです。これを見ますと 45 度の直線から右下がごみの量の減少、左上が増加をあらわしますが、明らかに右下の自治体が多いことがわかります。



家庭系可燃ごみの有料化前後の一人当たり可燃ごみ収集量変化（ｎ＝54）

●財政状況とごみ有料化の関係

地方自治体の財政上の要請でゴミを有料化しているのかどうかを見たのが下の図です。破綻度指数が高いほど有料化が進んでいる傾向は見えます。財政状況が比較的悪い堺以南の自治体の大半が有料化済みです。検討中であった和泉市が今回有料化の仲間入りの予定です。（破綻度指数：財政の状況を示す指数で大きいほど財政状況が悪い事を示す。独自の指数です。）